

放射性廃棄物管理状況(2022年度 第1四半期)

1. 放射性気体廃棄物の放出量

(単位: Bq)

		全希ガス	$^{131}\text{I}$	全粒子状物質	$^3\text{H}$	備 考
原子炉施設合計		ND	ND	ND	$4.5 \times 10^{10}$	放射性気体廃棄物の放出放射能(Bq)は、排気中の放射性物質の濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )に排気量(cm <sup>3</sup> )を乗じて求めている。 なお、放出放射能濃度が検出限界未満の場合はNDと表示した。 検出限界濃度は以下のとおり。  全希ガス: $2 \times 10^{-2}$ (Bq/cm <sup>3</sup> ) 以下 $^{131}\text{I}$ : $7 \times 10^{-9}$ (Bq/cm <sup>3</sup> ) 以下 全粒子状物質: $4 \times 10^{-9}$ (Bq/cm <sup>3</sup> ) 以下 ( $^{60}\text{Co}$ で代表した ) $^3\text{H}$ : $4 \times 10^{-5}$ (Bq/cm <sup>3</sup> ) 以下  また、原子炉施設合計値は、端数処理のため、排気筒別内訳の合計値と一致しない場合がある。
排気筒別内訳	1号機排気筒	ND	ND	ND	$6.9 \times 10^9$	
	2号機排気筒	ND	ND	ND	$1.1 \times 10^9$	
	3号機排気筒	ND	ND	ND	$5.0 \times 10^9$	
	4号機排気筒	ND	ND	ND	$2.3 \times 10^9$	
	5号機排気筒	ND	ND	ND	$1.5 \times 10^{10}$	
	6号機排気筒	ND	ND	ND	$7.1 \times 10^9$	
	7号機排気筒	ND	ND	ND	$7.1 \times 10^9$	
その他排気筒	焼却炉建屋排気筒(荒浜側)	異常なし※1	ND	ND	ND	
	焼却炉建屋排気筒(大湊側)	異常なし※1	ND	ND	$4.3 \times 10^8$	
	固体廃棄物処理建屋排気口	※2	※3	ND	※3	
年間放出管理目標値		$6.7 \times 10^{15}$	$2.3 \times 10^{11}$	—————	—————	

※1 通常レベルから変動していないことを確認して「異常なし」としている。

※2 全希ガスは廃棄物中に含まれないため管理対象外としている。

※3  $^{131}\text{I}$ 及び $^3\text{H}$ の発生量は無視できる程度と評価できることから管理対象外としている。